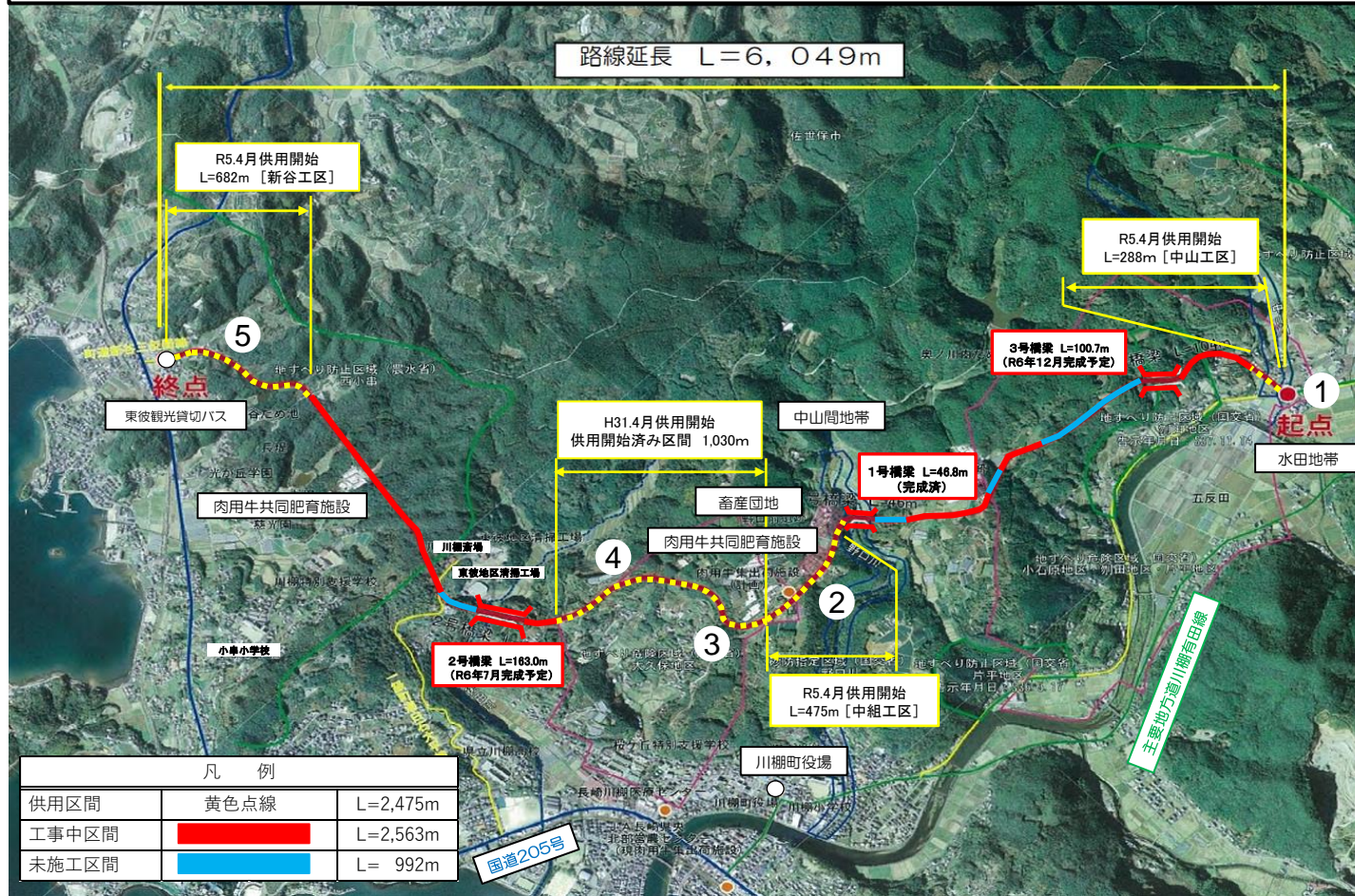


地方創生道整備推進交付金 川棚西部地区【長崎県東彼杵郡川棚町】



【目的】

川棚町の中山間地帯においては、昭和50年代以降、肉用牛共同肥育施設が相次いで建設され、長崎県を代表する大型畜産団地を形成している。

また、川棚川流域に広がる水田地帯における土づくり対策として、畜産団地から大量の堆肥の供給を行っており、地域一体となった稲わらと堆肥の相互供給による営農が展開されているが、畜産団地が展開する中山間地帯は、平坦部から急勾配で狭小なうえカーブが多い道路が多く、離合も困難な状況にある。

このため、本農道を整備することで輸送の合理化を図るとともに川棚川流域の水田地帯へのアクセス向上により畜産部門と耕種部門との連携による地域内供給システム(循環型農業)を図ることを目的としている。

【事業計画概要】

- ▶事業名 地方創生道整備推進交付金
- ▶道路延長 L=6,049m (うち橋梁3箇所 L=311m)
- ▶道路幅 W=7.0m 2車線
- ▶工期 平成22年度～令和8年度
- ▶事業費 10,890百万円(農山交+道交)
- ▶進捗状況 (R5.3.31まで)
 - 道路路体完了 L=3,929m [65%]
 - 舗装完了 L=2,561m [42%]
- ▶供用区間 L=2,475m

川棚西部地区 供用開始区間状況写真



●農道が完成することにより期待できる効果

〔 輸送ルートの分散化により生活道である町道の利便性や安全性の向上が期待出来ます。 〕



離合頻度の減少



輸送ルートの分散化

〔 波佐見町方面～佐世保市方面間の車両分散化により、国道205号線の渋滞緩和や救急・緊急車両の経路として利用され搬送時間の時間短縮も期待されます。 〕



国道渋滞の緩和



救急車両、緊急車両の時間短縮

〔 緊急輸送路や緊急避難道路としても期待出来ます。 〕



国道の補完となる緊急輸送経路

〔 農道沿線や近傍の耕作放棄地の減少や建設残土を利用した造成等、土地利用の拡大が期待出来ます。 〕

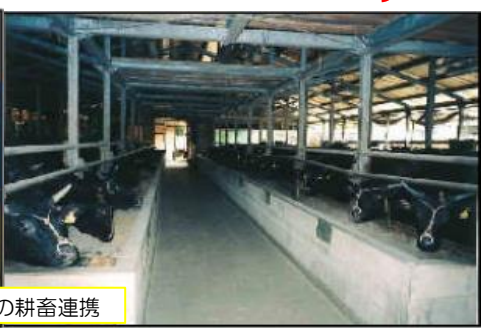


耕作放棄地の減少、土地の有効活用

〔 農業・畜産業において、移動時間や輸送時間が短縮となり、稲作と畜産の連携強化、循環型農業の確立等が期待出来ます。 〕



稲作、畜産の耕畜連携



〔 農道の完成により、農業の発展・経営規模の拡大も期待され、農産物の更なる品質向上やブランド力の向上等、様々な波及効果や可能性が広がる事が期待されます。 〕

橋梁工事の土木体験、見学会



JAながさき県央HPより

